

水力発電設備リース

S M F L 秋田・新電力向け

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は、秋田県東部の水力発電事業にプロジェクトファイナンス型リースを実行する。地元企業などが設立した地域新電力に対し、発電所の設備一式をリースで提供する。約10億円のリース料は事業の収益を原資とする。水力発電へのプロジェクトファイナンス型は同社で初めてとなる。

秋田県仙北市の地元企業、再生可能エネルギー事業のシン・エナジー事業のシン・エナジー(神戸市中央区)の計5社が設立した仙北水力発電(秋田県仙北)向け。同社は市内2カ所に発電所を設置する年間3600メガワットの発電を計画している。



仙北市の世帯数は1万500で約1割の発電量に相当する。

SMFLは対象事業の収益からリース料を受け取る。債務が保証されないノンリコースのリース提供とした。自社や協業する水力発

SMFLはプロジェクトファイナンス型リースを実行する

電のコンサルティング会社などの知見を生かし、事業性を評価した。同社は再生エネルギー事業を強化しており、2020年からは稼働済みの太陽光発電施設の買収に力を入れている。中期では民間企業が自社向けに保有する全国の水力発電施設も、同様に取り組む考えがある。